

**【働く】施策の柱13**

①予算事業名	水質保全対策事業 (耕土流出防止型)	予算科目	6-1-5-12	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	連携する産業振興		
②担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	暮らしの立つ農業地域づくり 施策の柱13-6		
③事業内容	旧土地改良基準で行われた圃場整備は、ほ場勾配が急勾配(3%以上)であり、土壌は浸食を受けやすい国頭マージが占めるため、降雨等による赤土等の流出は、周辺海域における水産業、観光産業、サンゴ礁生態系や水辺動植物への影響などに加えて、農用地からの赤土等の流出は農家にとって貴重な財産である肥沃な土壌の流出であり、早急な赤土流出防止対策が必要である。 農用地の流水を排水施設等に導く水路、排水施設及び沈砂池等の整備及び農用地又はその周辺の土壌の流出を防止するための法面保護や土砂流出防止対策の整備を行い、農用地からの赤土等流出を抑制し、農村環境保全と農業生産の維持向上を事業の目的とする。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a) 国庫	37,500,000	86,625,000		171,198,750	
		(b) 県費	7,500,000	17,325,000	98,669,000	34,239,750	
		(c) 地方債等	5,001,000	11,550,000	10,900,000	22,826,500	
		(d) 一般財源			465,000		
計(a~d)	50,001,000	115,500,000	110,034,000	228,265,000	0		
特定財源名	(a)または(b)の名称	水質保全対策事業		(c)の名称	水質保全対策事業		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	①比屋定地区 排水路工L=100m 沈砂池工1基 植生工L=200m ②仲里地区 排水路工L=1,043m 路面保護工L=1,435m 植生工L=1,933m ③比屋定2基地区 排水路工L=169m 沈砂池1基 植生工L=50m					
	平成31年度 [予定]	①比屋定地区 水兼農道工L=1,150m 排水路工L=825m 植生工L=2,160m ②仲里地区 排水路工L=100m 路面保護工L=190m 植生工L=100m ③比屋定2基地区 水兼農道工L=894m 排水路工L=1,289m 沈砂池3基 植生工L=2,078m					
平成32年度 [予定]	①供用開始 ②供用開始 ③供用開始						
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	工事実施 ①比屋定地区	目標	( / )	( 工事 )	( 工事 )	( 供用開始 )	( / )
		実績	沈砂池 1基 排水路 L=415m				
	工事実施 ②仲里地区	目標	( / )	( 工事 )	( 工事 )	( 供用開始 )	( / )
		実績	沈砂池 1基 排水路 L=240m				
実施設計・工事実施 ③比屋定2期地区	目標	( / )	( 工事 )	( 工事 )	( 供用開始 )	( / )	
	実績	実施設計					
事業成果効果等	・比屋定地区(事業工期H27~31)平成27, 28年度に実施設計、平成28年度より工事開始。 ・仲里地区(事業工期H28~31)平成28年度実施設計、平成29年度より工事開始。 ・比屋定2期地区(事業工期H29~31)平成29年度実施設計、平成30年度より工事開始予定。						
⑧写真及び図面							